

TOSHIBA

販売店・工事店様用

東芝有圧換気扇応用部材

電気式シャッター (ステンレス製) 取付・取扱説明書

〈単相100V〉

〈単相200V〉

形名

形名

VP-25-MSS

VP-25-MTS

VP-30-MSS

VP-30-MTS

VP-40-MSS

VP-40-MTS

VP-50-MTS

日本国内専用品
Use only in Japan

- このたびは電気式シャッターをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- シャッター単体で取り付け、給気口としても使用できます。
- (工事店さまへ)
- 取付工事を始める前に説明書をよくお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
- 取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

(お客さまへ)

- ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表示	表示の意味
	「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること」を示します。
	「取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること」を示します。

- *1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる重大損害をさします。

図記号の例

図記号	図記号の意味
	○は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で指示します。
	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

アースおよび漏電ブレーカーは確実に取り付ける
故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。
アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、
電気工事士へ依頼してください。



アースを接続する

警告

電源は定格電圧・定格周波数を使う
定格電圧・定格周波数以外の電源を使うと、
火災・感電の恐れがあります。

定格電圧・定格周波数使用

改造はしない

火災・感電・けがの恐れがあります。



改造禁止

取り付けやお手入れのときは、分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの恐れがあります。

ブレーカーを切る

水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない
漏電により、火災・感電の恐れがあります。



水かけ禁止

爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生する恐れ
のある場所には取り付けない
爆発や火災の原因になります。



取付禁止

修理技術者以外の人は、分解・修理(*)をしない

火災・感電・けがの恐れがあります。
※修理はお買上げの販売店または東芝家電修理
ご相談センターにご連絡ください。



分解・修理禁止

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造
の造営材に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通
する場合、製品および金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラ
ス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける
漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。



取付注意

注意

電気工事・アース工事は電気工事士(*)が行う
電気工事士以外の人が工事をする、火災・
感電・けがの恐れがあります。
※電気工事士への依頼はお買上げの販売店
または電気工事店にご相談ください。



電気工事士が実施

浴室など湿気の多い所や水のかかる所では使わない
火災・感電の恐れがあります。



使用禁止

お手入れ、取り付けのときは、ゴム手袋を使う
けがをする恐れがあります。



ゴム手袋を使う

電源電線はたるんで羽根にあたることのないように
しっかり出す
火災や感電の原因になります。



取付注意

電源電線の接続は電気設備技術基準や内線規程に
従って電気工事士が安全・確実に行う
電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する
接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因に
なります。



確実に行う

長期間で使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカー
を切る
絶縁劣化による火災・感電の恐れがあります。



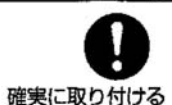
ブレーカーを切る

コード線は換気扇の羽根にあたらないように引き出す
絶縁劣化による火災・感電の恐れがあります。



取付注意

強度のある場所に確実に取り付け
落下により、けがをする恐れがあります。



確実に取り付ける

適用機種

形名	適用機種
VP-25-MSS	単相100V 25cmステンレス有圧換気扇
VP-30-MSS	単相100V 30cmステンレス有圧換気扇
VP-40-MSS	単相100V 40cmステンレス有圧換気扇
VP-25-MTS	三相200V 25cmステンレス有圧換気扇
VP-30-MTS	三相200V 30cmステンレス有圧換気扇
VP-40-MTS	三相200V 40cmステンレス有圧換気扇
VP-50-MTS	三相200V 50cmステンレス有圧換気扇

取り付け前のお願い

- 取付場所が悪いと故障の原因になります。
次のような場所には取り付けないでください。
・モーター部分に直接雨水のかかる場所
・使用温度範囲(-10℃~+50℃)を超える場所、および相対湿度90%(常温)を超える場所
・氷結する恐れのある場所
・厨房など油煙の多い場所や水蒸気の多く発生する場所
・腐食性ガスをフード・ダクトなどで局所排気する場所
・養鶏・養豚場のようなほこりの多い場所
※強酸・強アルカリ性の腐食性ガスが発生する場所への設置は寿命が短くなる場合があります
- モーターは短時間定格です。短い間隔で連続して電気式シャッターを開閉させないでください。
(30分以上間隔をおいてください。但し10回程度の連続開閉は支障ありません)
- 直接雨水が当たる場所では、必ずウェザーカバーをご使用ください。
- 給気用として使用する有圧換気扇のシャッターや給気口のシャッターとして使用する場合は、ウェザーカバーを設けても、雨が当たっていると雨水を吸い込むことがあります。雨のかからない場所に設置するか、万一雨水を吸い込んでも支障のない場所に設置してください。

- 電気式シャッターは、取付面が垂直から下側になる範囲で取り付けてください。
ただし、雨水を吸い込む恐れのある場所では、取付面は垂直としてください。

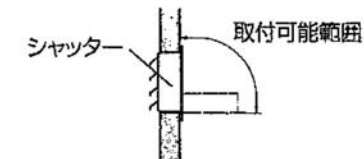


図1. 給気用アタッチメントを使用する場合の電気式シャッターの取り付けは、図1のように応用部材の給気用アタッチメントを使用すると簡単です。

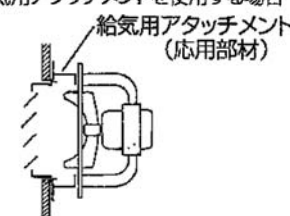
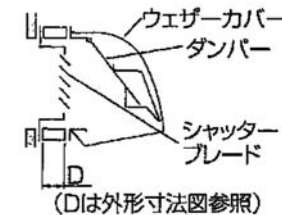


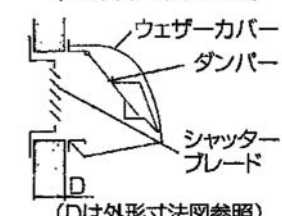
図2. 羽根が取付面から出る場合

- 給気用アタッチメントをご使用にならない場合は、壁外付けで、図2のように取り付けてください。
※有圧換気扇を給気で使用する場合は、共締めできません。

- 防火ダンパー付ウェザーカバーを使用する場合は、右図のように取り付け、ダンパーとシャッターブレードが当たらないように外形寸法図のD寸法以上の壁またはスペーサをはさんで取り付けてください。



(Dは外形寸法図参照)



(Dは外形寸法図参照)

- 取り付け後電気式シャッターが確実に開閉するか、振動や異常音がないか試運転をしてください。

